

中山小学校区

地域の良いところ・資源

自然豊かな施設を有する

- ・学区内には、昭和の森、緑化センター（ウェルグリーン愛知）という、緑あふれる施設が2つあり、地域住民だけでなく広域的な憩いの場所となっている。
- ・周辺には手入れされていない原生的自然林が多い。
- ・昭和の森は家族で自然を楽しめる無料の施設として、緑化センターは散策道路も整備されている公園として、いずれも人気が高い。

子育て・教育活動や地域イベントが盛んである

- ・子育てサークルの活動が積極的に進められている。
- ・小学校と地域自治区が連携を組んで活動をしている。
- ・豊かな経験を持った知恵袋なおじいさん・おばあさんなど人材が多い。
- ・各自治区においてお祭りがあり、親睦を深めるためには良いと思う。

働く場が近くにある

- ・自動車製造関連の事業所があり、雇用の場が整っている。

地域の悪いところ・問題点

自然の維持管理が必要

- ・自然と共生するためには、人の手を入れて計画的に自然を保全しないといけない。
- ・田畑や雑木林などにごみのポイ捨てや不法投棄が見られる。

住宅地の老朽化が進んでいる

- ・開発されてからかなりの時間が経過した団地では道路が狭く、未舗装のところもある。
- ・各家庭の自動車の保有台数が増え、駐車スペースの確保が困難になり路上駐車が見られる。

高齢者の居場所や健康づくりの場が少ない

- ・お年寄りが寄って集う場所が少ない。
- ・高齢者社会に対応した健康づくり・体力づくりを簡単に行える施設や場所が少ない。

子どもの安全がおびやかされている

- ・国道419号の歩道整備など通学路の安全性確保が必要である。
- ・子ども達が安心して遊べる公園が少ない。
- ・団地内道路で遊ぶ子どもが多く危険である。

- ・若者がたむろする場所があるが、具体的な指導が難しい。

幹線道路の渋滞解消と生活道路の安全確保

- ・国道419号中山付近はいつも混雑している。
- ・災害時等の視点で考えると幹線道路が1本ではダメだと思う。
- ・幹線道路の渋滞を避けた大型トラックが狭い生活道路や緑化センターへのアクセス道路を通り抜ける。

公共交通の利便性が不十分

- ・バスは本数が少なく、またバス停までに距離がある。そのため、高齢者や学生などは家族がマイカーで送り迎えをしている。

観光などの地域の賑わいづくりが必要

- ・東海自然歩道があり、自然環境に恵まれているが、施設(店)が整っておらず観光地になっていない。
- ・自然や歴史文化などの潜在的に魅力があるが、身近にあるために気付いていない。また、見直し発見を行う努力も行っていない。
- ・歴史的、文化的なものに対する評価が低く、次の世代に伝わっていない。
- ・市民が参加したくなるようなイベントがない。

地域の主要課題

1 緑を感じられる周辺施設の活用と共存

昭和の森、緑化センターの活用

昭和の森と緑化センターの豊かな自然の保全と充実

昭和の森：散歩道の整備やバーベキュー施設の増設

緑化センター：イベントの充実による来訪者の増加

通り抜け利用が多いアクセス道路の安全性の向上

自然の維持管理や環境美化

自然愛好家などの有志による自然維持管理、里山環境整備などの促進

豊かな緑と共存した宅地開発の誘導と自然を壊す乱開発の規制

ごみのポイ捨て・不法投棄の防止（捨てにくい環境づくり）

2 子どもやお年寄りがいきいきと暮らせる居住環境の整備

子どもも大人も安心できる環境づくり

子どもが安全に楽しく遊べ、高齢者の居場所となるような公園の整備

団地内道路や幹線道路の歩道における歩行者・自転車等の安全確保

子育て家庭を地域で支える活動の推進

学童保育の充実や子育て支援サークルの活動支援

小学校と地域自治区の連携による活動の継続と展開

高齢者の健康づくり

健康づくりを目的とした運動施設やウォーキングルートの整備及びインストラクターなどの配置

防犯・防災対策

街路灯の増設やパトロール強化による防犯対策と青少年の非行防止

防犯パトロールのための青色回転灯車両の運行

住宅地環境の改善

古くに開発された住宅地における生活道路の維持補修や舗装、住宅地内の側溝

整備などによる排水対策

住宅地内の路上駐車対策

雇用の場の確保・維持

自動車産業関係の事業所に対する地元雇用と従業員の定住促進

3 交通条件の向上

交通渋滞の解消に向けた取組み

国道419号の渋滞解消方策の検討

交通渋滞時に生活道路へ流入する通り抜け車両の抑制策の検討・実施

通勤時間帯の猿投グリーンロード無料化の検討

歩行者・自転車等の安全の確保

新設中学校生徒、小学生児童のための通学路の整備

安全性の向上に向けた幹線道路の歩道確保

公共交通（おいでんバス）の利便性向上

便数増加（通勤・通学時間帯に配慮）や運賃軽減、停留所位置などの検討

4 地域コミュニティの再生と地域の魅力発信

地域の歴史・文化を介した世代間交流

歴史・文化の掘り起こしと次世代への継承

高齢者など様々な人材の知恵や経験を子どもに伝えることによる世代間交流

住民参加によるお祭り・イベントの充実

参加者を増やすため、地域におけるイベントの魅力向上

自然を生かした訪れたい地域づくり

地域の魅力の再発見・再認識と資源の磨き上げによる、訪れたいような地域づくり